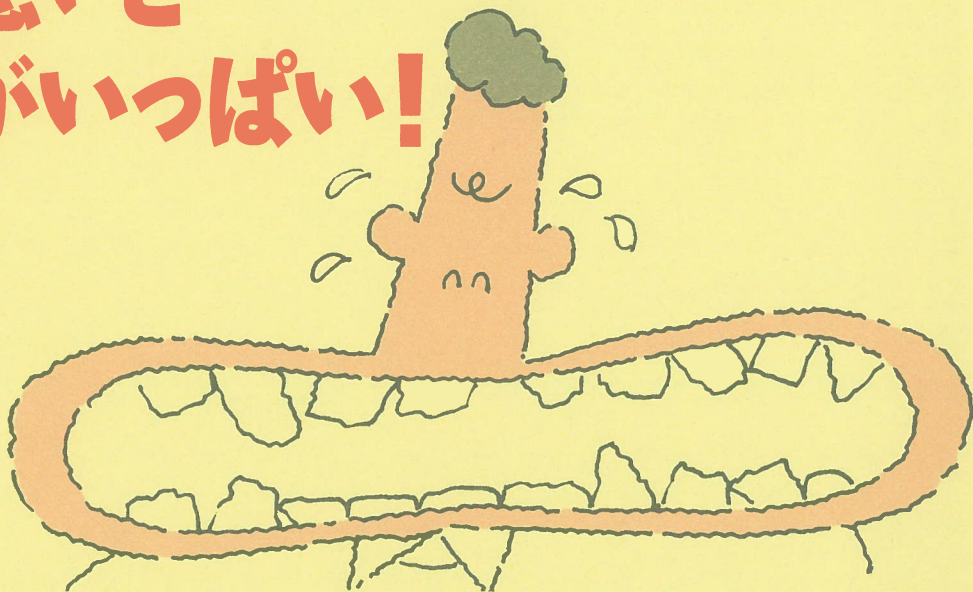


歯ならびが悪いと 不便な事がいっぱい!

あふれる笑顔は
あなたの口元から!



矯正はなぜ必要か?

歯ならびが悪いと...

むし歯になりやすい

歯ならびが悪いと汚れが歯の周りにたまりやすくなり、歯ブラシも歯の隅々にまで届きにくい。ため、歯はいつも汚れた状態で、むし歯になりやすくなります。また、歯肉に炎症が起きやすくなり、歯周病の原因になります。



発音が正しく出来ない

奥歯をかみしめても前が開いてしまう「開咬」の場合は、「サ」とか「シ」とかの発音がしにくくなります。日本語ではそれほど目立ちませんが、英語を発音する時は大きなハンデになるようです。

ソシャク障害が起こりやすい

食物を十分にかみ砕くことができないため、栄養摂取の効率が悪くなり、胃腸をこわしたりします。



あごの成長に異常を起こす

あごの成長が十分に進まなかったり、逆に伸び過ぎてしまったりします。子供のうちはあまり目立たないので気づきにくいですが、成長するにつれひどくなり、顔つきも異常を起こします。



ひけめや劣等感を抱きやすい

大きく口を開けたりすると歯ならびの悪さが目立ってしまうので、人前であまり笑わなくなったり、しゃべらなくなったりします。



歯ならびのよいスマイルは素晴らしいものです。しかし、審美面だけでなく、機能面でも歯の寿命という意味でも、(歯ならびがよいことは) 大事なことです。最近、装置の発達もあり、歯周病の予防や管理のために矯正を希望する大人の方が増えております。

原因と治療は

上下のあごの位置のずれ(不調和)や、あごと歯の大きさのずれ、悪習癖により、歯ならびが悪くなります。

上下のあごの位置のずれが大きいと、受け口や出っ歯になったりします。この場合の治療としては、成長中のあごの発育を抑える装置や逆にあごの骨を促進する装置が使われます。あごの治療の場合は取り外しの装置が通常使われます。

小さなあごに大きな歯が並んでいる場合は、乱ぐい歯、八重歯になったり、前後の傾斜が強くなったりします。この場合の治療は、歯の数を減らして、残りの歯をきれいに並べることになります。歯を動かす場合は、取り付けの装置が通常使われます。

悪習癖により生じた歯ならびは、悪習癖を中止することで、通常は改善してきます。

矯正治療はむし歯の治療と比べ治療期間が長く、根気強く受診することが大事です。又、取り付けの装置を装着した場合、お口の中が汚れやすくなりしっかり歯みがきをする必要があります。

歯科医師・歯科衛生士はあなたの強い味方!
お口の健康を守るプロフェッショナル!



広島市歯科医療福祉対策協議会

広島市中区富士見町11番9号 広島市歯科医師会事務局内 TEL(082)244-2662